

2004年9月13日

双日株式会社

豪州で新規炭鉱事業着工へ ミネルバ炭鉱、2005年より採掘・販売開始

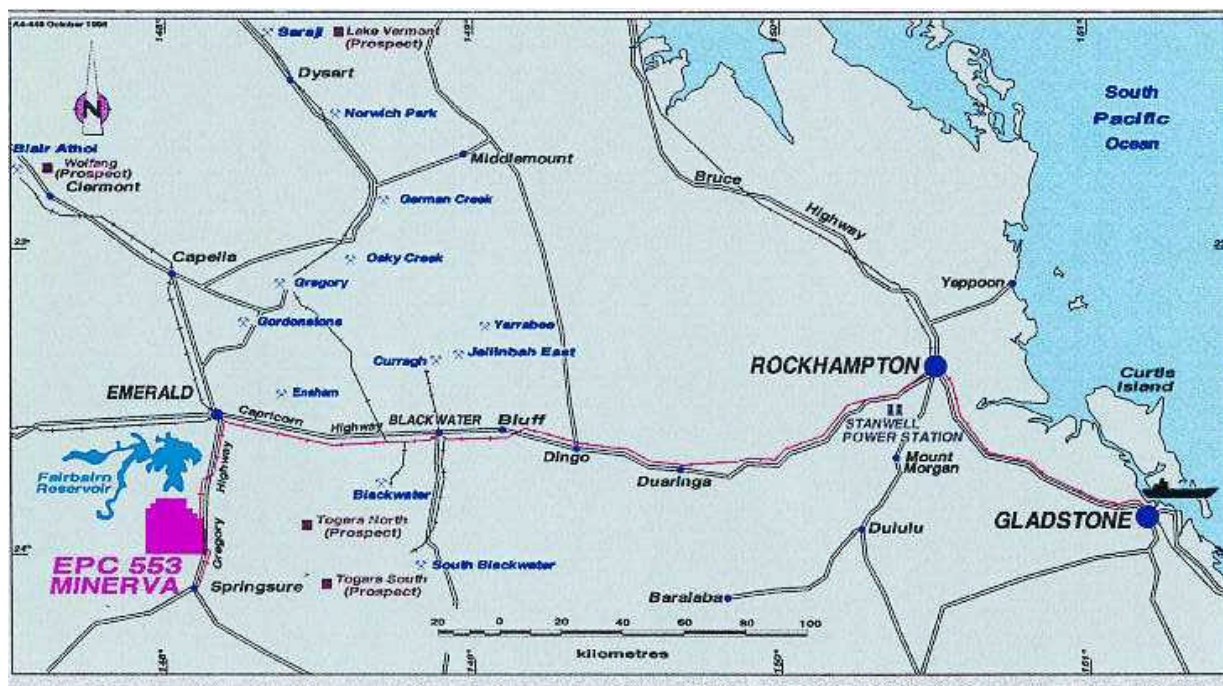
双日株式会社は、1994年に権益の一部を取得したミネルバ炭鉱（豪州・クィーンズランド州）の探査、土地の確保、採掘権取得および企業化調査を行ってきましたが、この度2005年度から採掘・販売を開始する運びとなりました。

ミネルバ炭鉱は双日の石炭事業現地事業会社である Catherine Hill Resources 社（以下 CHR 社）が 30%、豪州・クィーンズランド州の資源開発会社の Felix Resources 社が 70%を保有する Un-incorporated Joint Venture 形態で操業・運営を行います。同炭鉱は豪州・エメラルド市（クィーンズランド州）の南約 45km に位置し、販売可能埋蔵量として約 2,680 万トンを確認されており、この埋蔵量は全て条件の良い露天掘りでの採掘が可能のため、高い収益性が期待できます。

採掘・販売は 2005 年から約 20 万トンベース / 年で開始、2006 年には 150 万トン / 年以上、2007 年以降は約 250 万トン / 年とし、フル稼働となる 2007 年以降の年間売上高は約 1.1 億豪ドル（約 88 億円）となる見込みです。同炭鉱からは製鉄用原料炭（PCI 用炭）（全体の 40～50%）、高品位一般炭（全体の 50～60%）の産出を計画しており、主な販売先は日本の他、台湾、韓国等のアジア地区の電力、セメント等一般産業、製鉄会社となります。双日は日本向け独占販売権、台湾向け販売権を既に取得しており、今後他の国・地域向けの販売権も順次取得していく予定です。

石炭を含むエネルギー・金属資源部門を重点分野と位置付けている双日は、これまでに豪州で CHR 社経由 7 ヶ所（うち操業中炭鉱の合計生産数量 1,180 万トン / 年）の他、インドネシア、カナダでそれぞれ 1 ヶ所ずつの炭鉱事業を行っており、今回のミネルバ炭鉱を含め今後も需要動向をみながら収益拡大に向けた新規炭鉱開発による生産・販売体制の強化を積極的に行ってまいります。

〔プロジェクト所在地〕



【本件に関する問い合わせ先】

双日株式会社 広報部 関口 TEL : 03-5520-3404